

みんなで防ごう土砂災害

これからの時期、梅雨や台風シーズンを迎えます。毎年6月は「土砂災害防止月間」と定められており、町民の皆さんには土砂災害に関する理解と関心を深めるとともに、防災知識の普及や警戒避難体制の整備促進などを通じて、被害の防止、軽減を図ります。

わが国は、険しい山地や谷地、崖地が多く、地震や火山活動も活発なため、土砂災害が発生しやすい環境です。台風や豪雨に見舞われやすく、平均で毎年約1千件の土砂災害が発生しています。近年本町では、幸いにも人的被害を伴うような大災害に見舞われることはありませんでしたが、災害が発生しやすい土地柄であることは間違いありません。270カ所が土砂災害危険箇所、271カ所が土砂災害警戒区域に指定されています。

この機会にもう一度、家族や地域で土砂災害の危険性や避難行動について考えてみましょう。



土砂災害防止月間

6月1日(月) ~ 30日(火)

こんな現象を発見したらすぐに連絡を



斜面から水が噴き出す



沢や井戸の水が濁る



地面にひび割れができる



山鳴りがする



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる



川の流が濁り、流木が混ざり始める



小石がパラパラ落ちてくる



崖に割れ目が見える

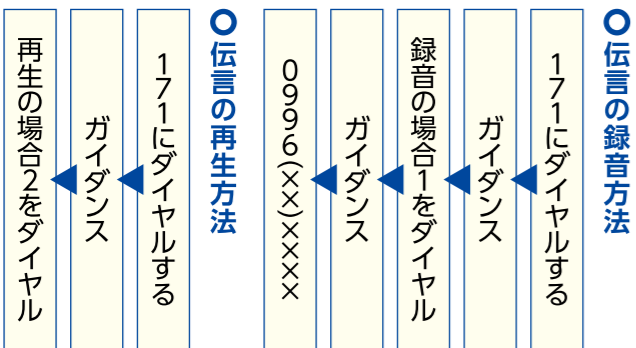


崖から水が湧き出ている

連絡体制

災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生し、電話が繋がりにくい状態になった場合、安否確認の伝言を録音できるサービスです。



連絡先を確認しましょう

前兆現象の発見・避難支援・災害発生・避難所の開設状況
役場総務課消防防災係 ☎(86)1111[代表]

けが人が出た・人命救助
「119番」または阿久根地区消防組合 ☎(86)0119



予備知識 大雨に注意しましょう

1時間に20mm以上または降り始めてから100mmの降雨量になったら注意しましょう。



予備知識 逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。

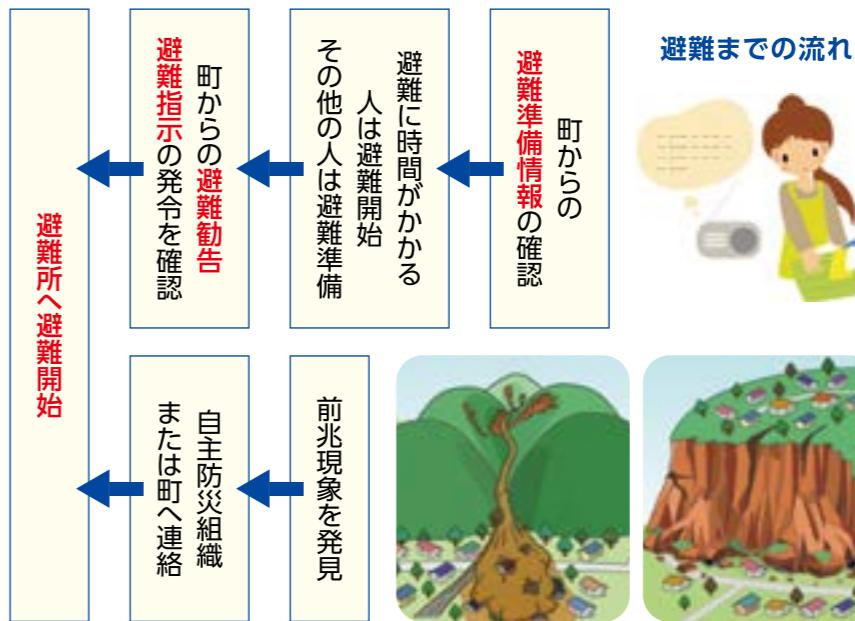


予備知識 避難所を決めておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難する順路を決めておきましょう。

避難行動

避難までの流れ



- ① 避難所を確認しましょう。
※学校や公共施設、各地区の公民館などが避難所に指定されています。分からない場合は、役場へ問い合わせてください。
- ② 避難路を確認しましょう。
- ③ 避難までの流れを確認しましょう。